



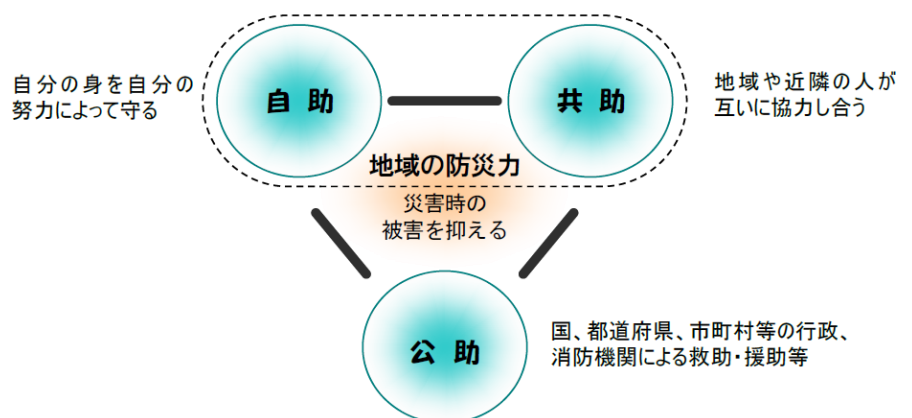
みなさん、こんにちは(^_^)/ 自然災害が続いた9月でしたね。私事になりますが、9月1日防災の日に、豪雨災害を想定したカードゲームを体験してきました。

違う立場の人になり災害時にどう行動するかを疑似体験するゲームです。他の人の立場になることで、多様な視点で考えることができ、とてもよい機会となりました。また、「自助、共助、公助」という言葉を恥ずかしながら、初めて知りました。

「公助」のみの災害対策には、限界があり「自助」「共助」が極めて重要になります。

日頃から、個人・家族で備えることはもちろんのこと、ご近所さん・

地域の方とのつながりが大切だなと改めて思いました。



「自主防災組織の手引」
総務省消防庁編 (H29年3月発行)より

木質バイオマス「地域内エコシステム」

vol.76(8月号)でもお伝えしましたが、黒部市宇奈月温泉が、木質バイオマスエネルギーの利活用による地域内エコシステム構築・定着を図るための実行可能性調査の対象地域として、全国10か所の一つに選ばれました。選ばれた地域は、協議会を設置し、一般社団法人日本森林技術協会と協力して、実現可能性調査などを実施していきます。9月7日(金)午前に第1回協議会を開催

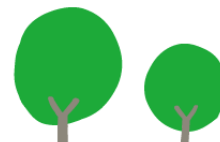


し、当法人や宇奈月温泉の旅館、森林関係者など15人が出席しました。先進地事例の説明や今後の調査スケジュールなどを確認しました。

9月中旬から、木材の供給元候補の森林の現地調査や木質バイオマス熱エネルギーの需要先への調査がスタートしています。

裏面もあります、見てくださいね♥

わたしたちの暮らしと地球温暖化 その27



持続可能な開発目標 SDGs(エスディー・ジーズ)について、これまで何回か取り上げてきました。持続可能な社会の実現のため、2016年から2030年までの国際目標で、17の目標と169個のターゲットがあることをうっすらとでも、覚えてもらっていると幸いです。さて今回は、SDGsの特徴的な3つの考え方についてです。

☆誰ひとり取り残さない☆

すべての国、すべての人々及び社会のすべての部分で目標の達成をめざし、もっとも遅れているところに第一に手を伸ばすべく努力をします。

☆5つのP☆

人間、地球、豊かさ、平和のための目標であり、国際社会のパートナーシップにより実現をめざします。

[人間] あらゆる形態の貧困と飢餓に終止符を打ち、尊厳と平等を確保する。

[地球] 将来の世代のために、地球の天然資源と気候を守る。

[豊かさ] 自然と調和した、豊かで充実した生活を確保する。

[平和] 平和で公正、かつ包摂的な社会を育てる。

[パートナーシップ] 確かなグローバル・



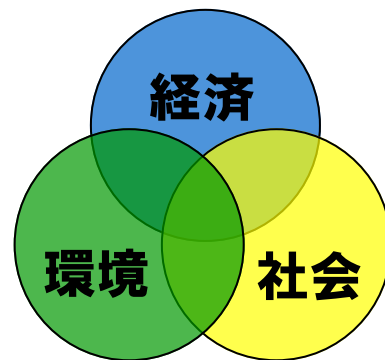
国際連合広報センター:SDGsを広めたい・教えたい方のための「虎の巻」から作成

パートナーシップを通じ、アジェンダ(行動計画)を実施する。

☆経済、社会、環境の調和☆

持続可能な開発を達成するためには、経済成長、社会的包摂※、環境保護という3つの主要素を調和させることが欠かせません。

※社会的包摂＝社会的に弱い立場にある人々も含め市民ひとりひとり、排除や摩擦、孤独や孤立から援護し、社会(地域社会)の一員として取り込み、支え合う考え方のこと。(Wikipediaより)



(富山県地球温暖化防止活動推進員 & 地球温暖化防止コミュニケーター:美香)



発行／一般社団法人でんき宇奈月

編集／一般社団法人でんき宇奈月 町野、水野

〒938-0282 黒部市宇奈月温泉633-1 大高建設(株)内 TEL 0765-62-1106

<http://www.denki-unazuki.net/>

ご意見ご感想お待ちしております！